

会員の異動状況

	平成19年2月現在	平成18年2月現在	増減
名誉会員	45名(含国外19)	43名(含国外19)	+ 2
正会員	4,251名	4,134名	+ 118
外国会員	25名	25名	0
賛助会員	27社	27社	- 2
入会	正224名		
退会	正106名 (含除名36名)		

物故会員(50音順) 敬称略 -

名誉会員 いがり 猪狩 ただし 忠

正会員 おおしま 大島 よしお 良夫、あきやま 秋山 ひとし 仁、たなか 田中 せんじ 仙二、いがわ 井川 すなお 淳、
ふじさわ 藤澤 ゆういち 裕一、もりかわ 森川 あきひこ 昭彦 (以上 7名)

会議に関する事項

1. 理事会

平成18年度第1回 平成18年7月10日(月)
 ルビーホール12F『明星・光雲の間』

- 議事 (1) 前回議事録・議事要録確認の件
 (2) 第15回基礎学術集会の件
 (3) 第50回総会・学術集会報告の件
 (4) 第16回基礎学術集会の件
 (5) 平成18年度各種委員会活動方針並びに予算案の件
 (6) 各種委員会報告の件
 (7) 社団法人日本形成外科学会創設50周年記念事業の件
 (8) 日本形成外科学会専門医制度の今後のあり方について
 (9) 会費滞納者除名に関する件
 (10) 新入会員・退会会員の件
 (11) その他

平成18年度第2回 平成18年10月11日(水)
 パレスホテル大宮 3F『銀杏の間』

- 議事 (1) 前回議事録・議事要録確認の件
 (2) 第15回基礎学術集会の件
 (3) 第50回総会・学術集会の件
 (4) 第16回基礎学術集会の件

- (5) 第 4 9 回総会・学術集会の件
- (6) 平成 1 8 年度会計中間報告の件
- (7) 各種委員会報告の件
- (8) 社団法人日本形成外科学会創設 5 0 周年記念事業の件
- (9) 新入会員・退会・除名会員の件
- (1 0) その他

平成 1 8 年度第 3 回 平成 1 9 年 2 月 1 3 日 (火)
ルビーホール 12F 『明星・光雲の間』

- 議 事
- (1) 前回議事録・議事要録確認の件
 - (2) 第 1 5 回基礎学術集会の件
 - (3) 第 5 0 回総会・学術集会の件
 - (4) 第 1 6 回基礎学術集会の件
 - (5) 第 5 1 回総会・学術集会の件
 - (6) 評議員選挙結果報告の件
 - (7) 平成 1 8 年度収支見込決算ならびに平成 1 9 年度予算大綱の件
 - (8) 各種委員会報告の件
 - (9) 美容外科の教育関連施設認定に関する件
 - (1 0) 社団法人日本形成外科学会創設 5 0 周年記念事業の件
 - (1 1) 名誉会員推記載に関する件
 - (1 2) 会費滞納者除名に関する件
 - (1 3) 新入会員・退会会員の件
 - (1 4) その他

平成 1 8 年度第 4 回 平成 1 9 年 4 月 1 0 日 (火)
ホテル日航東京 1F 『ジュピター』

- 議 事
- (1) 前回議事録・議事要録確認の件
 - (2) 第 5 0 回総会・学術集会の件
 - (3) 第 1 6 回基礎学術集会の件
 - (4) 第 5 1 回総会・学術集会の件
 - (5) 第 1 7 回基礎学術集会の件
 - (6) 平成 1 8 年度収支決算報告ならびに平成 1 9 年度予算案の件
 - (7) 名誉会員推戴に関する件
 - (8) 各種委員会報告の件
 - (9) 社団法人日本形成外科学会創設 5 0 周年記念事業の件
 - (1 0) 日韓形成外科学会の件
 - (1 1) 日中形成外科学会の件
 - (1 2) 会費滞納者除名に関する件
 - (1 3) 新入会員・退会会員の件
 - (1 4) 評議員提出議題の件
 - (1 5) その他

2 . 評 議 員 会

平成 1 8 年度定例評議員会 平成 1 8 年 4 月 1 1 日 (火)
ホテルグランヴィア岡山 3 階 『クリスタル』

- 議 事
- (1) 平成 1 7 年度年次報告の件
 - (2) 平成 1 7 年度収支決算の件
 - (3) 平成 1 8 年度事業計画の件

- (4) 平成 1 8 年度収支予算の件
- (5) 専門医制度細則他改定に関する件
- (6) 名誉会員推戴の件
- (7) 第 4 9 回通常総会・学術集会の件
- (8) 第 5 0 回(次期)通常総会・学術集会の件
- (9) 第 5 1 回(次次期)会長候補者選出の件
- (1 0) 第 1 5 回基礎学術集会の件
- (1 1) 第 1 6 回(次期)基礎学術集会の件
- (1 2) 第 1 7 回(次次期)基礎学術集会会長候補者選出の件
- (1 3) 第 1 0 回 IPRAS・APS の件
- (1 4) 日韓形成外科学会の件
- (1 5) 日中形成外科学会の件
- (1 6) 会費滞納者除名の件
- (1 7) 評議員提出議題の件
- (1 8) その他

3 . 総 会

平成 1 8 年度通常総会 平成 1 8 年 4 月 1 3 日(木)

岡山コンベンションセンター 3 階『コンベンションホール』

- 議 事
- (1) 平成 1 7 年度年次報告の件
 - (2) 平成 1 7 年度収支決算の件
 - (3) 平成 1 8 年度事業計画の件
 - (4) 平成 1 8 年度収支予算の件
 - (5) 専門医制度他細則改定に関する件
 - (6) 名誉会員承認の件
 - (7) 第 4 9 回通常総会・学術集会の件
 - (8) 第 5 0 回(次期)通常総会・学術集会の件
 - (9) 第 5 1 回(次次期)会長候補者承認の件
 - (1 0) 第 1 5 回基礎学術集会の件
 - (1 1) 第 1 6 回(次期)基礎学術集会の件
 - (1 2) 第 1 7 回(次次期)基礎学術集会会長候補者承認の件
 - (1 3) 第 1 0 回 IPRAS・APS の件
 - (1 4) 日韓形成外科学会の件
 - (1 5) 日中形成外科学会の件
 - (1 6) 会費滞納者除名の件
 - (1 7) 評議員提出議題の件
 - (1 8) その他

事 業 報 告

(1) 第 4 9 回日本形成外科学会総会・学術集会

会 期：平成 1 8 年 4 月 1 2 日(水)、1 3 日(木)、1 4 日(金)

会 場：岡山コンベンションセンター(岡山)

ホテルグランヴィア岡山

会 長：森口 隆彦 川崎医科大学形成外科学教室教授

下記の招請講演、招待講演、教育講演、教育セミナー、看護セミナー、シンポジウム、パネルディスカッションが行われた。

- 【招請講演】 第2日 4月13日(木)
司会 東京女子医科大学形成外科 野崎 幹弘
- 『こころ・と・からだ』
作家 五木 寛之
- 【招待講演】 第1日 4月12日(水)
司会 東京慈恵会医科大学形成外科 栗原 邦弘
- 『Fibronectin functional domains coupled to hyaluronan stimulate adult human dermal fibroblast responses critical for wound healing』
Director, Center of Tissue Engineering Professor,
Department of Biomedical Engineering, Dermatology and Medicine,
State University of New York, Stony Brook, USA
Richard A. Clark, M.D.
- 【招待講演】 第1日 4月12日(水)
司会 東京大学形成外科 光嶋 勲
- 『Evolution to perforator concept』
Associate Professor, Department of Plastic Surgery,
Hanyang University, Seoul, Korea
Jeong Tae Kim, M.D.
- 【招待講演】 第3日 4月14日(金)
司会 東邦大学形成外科 丸山 優
- 『Experiences in upper blepharoplasty』
Professor, Department of Plastic Surgery,
Yonsei University College of Medicine, Seoul, Korea
Beyoung Yun Park, M.D.
- 【招待講演】 第3日 4月14日(金)
司会 北海道大学 名誉教授 杉原 平樹
- 『Pressure ulcer treatment: A review of the evidence』
Assistant Professor, UCLA School of Medicine, Division of Geriatrics
and a nurse research with the Geriatric Research, Education
and Clinical Center; Veterans Administration
Greater Los Angeles Healthcare System, USA
Barbara M. Bates-Jensen, PhD, RN, CWOCN
- 【教育講演】 第1日 4月12日(水)
司会 名古屋大学形成外科 鳥居 修平
- 『陳旧性顔面骨骨折の治療』
金沢医科大学形成外科 川上 重彦
- 【教育講演】 第2日 4月13日(木)
司会 聖マリアンナ医科大学形成外科 熊谷 憲夫
- 『脊髄損傷治療への挑戦 臨床試験を開始』
京都大学形成外科 鈴木 義久
- 【教育講演】 第3日 4月14日(金)
司会 徳島大学形成外科 中西 秀樹

『新しい再建外科手術と穿通枝皮弁挙上のコツ』

東京大学形成外科 光嶋 勲

【教育セミナー1】 第1日 4月12日(水)

司会 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院形成外科 酒井 成身

『私の行っている乳房再建術』

メガクリニック 高柳 進

【教育セミナー2】 第1日 4月12日(水)

司会 帝京大学形成外科 平林 慎一

『小耳症再建に必要な基本的知識』

東京医科歯科大学形成外科 秦 維郎

【教育セミナー3】 第1日 4月12日(水)

司会 昭和大学形成外科 保阪 善昭

『口唇口蓋裂の治療 口唇裂初回手術の minimal requirement 』

藤田保健衛生大学形成外科 吉村 陽子

【教育セミナー4】 第1日 4月12日(水)

司会 北里大学形成外科 内沼 栄樹

『フェイスリフトによる顔面の若返り』

カリスクリニック 出口 正巳

【教育セミナー5】 第2日 4月13日(木)

司会 新潟大学形成外科 柴田 実

『手の外科の基本手技』

東京慈恵会医科大学形成外科 栗原 邦弘

【教育セミナー6】 第2日 4月13日(木)

司会 東北大学形成外科 山田 敦

『植皮の常識を越えて』

大阪大学形成外科 細川 互

【教育セミナー7】 第2日 4月13日(木)

司会 岩手大学形成外科 小林誠一郎

『褥瘡の保存的治療と外科的治療 Critical colonization 創の局所治療 』

福岡大学形成外科 大慈弥裕之

【教育セミナー8】 第3日 4月14日(金)

司会 昭和大学形成外科 佐藤 兼重

『上顎・下顎骨骨切り術の基本』

長崎大学形成外科 平野 明喜

【教育セミナー9】 第3日 4月14日(金)

司会 千葉大学形成外科 一瀬 正治

『縫合・吻合法：皮膚、血管、リンパ管、神経』

北海道大学形成外科 山本 有平

【教育セミナー 10】 第3日 4月14日(金)
 『顔面神経麻痺の形成手術』
 司会 埼玉医科大学形成外科 中塚 貴志
 東京大学形成外科 朝戸 裕貴

【看護セミナー】 第3日 4月13日(木)
 『褥瘡管理最前線 どう見る、どう診る、どう治す』
 司会 長崎大学 名誉教授 藤井 徹
 「看護師が行う創傷管理」
 東京大学老年看護学 真田 弘美
 「皮膚科医が行う創傷管理」
 京都大学皮膚科 宮地 良樹
 「形成外科医が行う創傷管理」
 埼玉医科大学形成外科 市岡 滋

【シンポジウム】 第1日 4月12日(水)
 『難治性皮膚潰瘍に対する治療戦略』
 司会 東京医科歯科大学形成外科 秦 維郎
 京都大学形成外科 鈴木 茂彦

- S -1 大分岡病院での足の難治性潰瘍に対する治療戦略
 大分岡大学形成外科 澁谷 博美
- S -2 糖尿病性皮膚潰瘍の治療戦略
 埼玉医科大学形成外科 市岡 滋
- S -3 特別発言 糖尿病性足病変 (diabetic foot) における治療戦略
 形成外科と他科・他病院とのチーム医療
 神鋼病院形成外科 田中 嘉雄
- S -4 血管障害性皮膚潰瘍に対する治療戦略
 日本大学形成外科 井砂 司
- S -5 特別発言 細胞治療を駆使した重症虚血性難治性潰瘍の治療成績
 日本医科大学形成外科 水野 博司
- S -6 当科における難治性皮膚潰瘍の治療
 聖マリアンナ医科大学形成外科 松崎 恭一
- S -7 褥瘡の保存的治療 特に物理療法について
 東北大学形成外科 館 正弘
- S -8 陰圧閉鎖療法に張力・灌流・人工真皮などを付加した
 新しい難治性潰瘍治療戦略
 東京医科大学形成外科 松村 一

【シンポジウム】 第2日 4月13日(木)
 『マイクロサージャリー30年の進歩 長期成績より見た術式の変遷』
 司会 杏林大学形成外科 波利井清紀
 名古屋大学形成外科 鳥居 修平

- S -1 切断指再接着術式の変遷と術式の標準化にむけて
 大津赤十字病院形成外科 石川 浩三
- S -2 特別発言 重度手指損傷に対する再建術の進歩

		埼玉手の外科研究所	平瀬 雄一
S -3	下腿再建：適応の選択と術式標準化の試み		
		名古屋大学形成外科	亀井 譲
S -4	特別発言 下腿骨髄炎に対する血管柄付遊離皮弁の長期成績		
		せきぐちクリニック	関口 順輔
S -5	上顎骨再建術式の変遷と術式標準化の試み		
		北海道大学形成外科	山本 有平
S -6	下顎骨再建術式の変遷と術式標準化の試み		
		杏林大学形成外科	多久嶋亮彦
S -7	顔面神経麻痺再建術の長期成績と術式の変遷		
		東京大学形成外科	朝戸 裕貴
S -8	頸部食道再建術式の変遷と長期成績		
		東京女子医科大学形成外科	櫻井 裕之
S -9	特別発言 TJ シャントの長期成績と手術適応		
		神戸大学形成外科	田原 真也
S -10	小児における遊離皮弁再建術の進歩 ~皮弁の選択とその長期成績~		
		長崎大学形成外科	田中 克己

【シンポジウム】 第3日 4月14日(金)

『美容外科 その現況と展望 大学病院と開業美容外科』

司会 東海大学形成外科
サフォクリニック

谷野隆三郎
白壁 征夫

S -1	大学病院美容外科に対する医学生・若手医師の意識調査 大学病院における美容外科研修への期待と課題	東海大学形成外科	市川 広太
S -2	大学病院における美容外科診療	北里大学形成外科	内沼 栄樹
S -3	形成外科開業医の視点から見た今後の美容医療の展望について	河田外科形成外科	河田 真作
S -4	美容外科開業1年生の抱える悩みと未来	原口クリニック	原口 和久
S -5	当施設美容外科	東京大学形成外科	吉村浩太郎
S -6	昭和大学における美容外科の現況と展望	昭和大学形成外科	清水 祐紀
S -7	神戸における美容外科の現況と展望	大学病院と開業美容外科 神戸大学形成外科	杉本 庸

【パネルディスカッション】 第1日 4月12日(水)

『初回口唇裂手術時に行った外鼻形成術の術式とその経過報告』

司会 慶応義塾大学形成外科
横浜市立大学形成外科

中島 龍夫
鳥飼 勝行

P -1	片側唇裂に対する外鼻一次形成術の術式と長期成績	香川大学形成外科	井川 浩晴
P -2	当科における唇裂初回手術時の外鼻形成術とその経過	慶応義塾大学形成外科	宮本 純平

- P -3 唇裂初回外鼻形成における鼻腔内 Z 型切開による大鼻翼軟骨外側脚と外側鼻軟骨の矯正と鼻翼円蓋形成の試み
信州大学形成外科 杠 俊介
- P -4 外鼻に切開を入れない唇裂初回手術時外鼻形成術
神奈川県立こども医療センター形成外科 山本 康
- P -5 初回口唇形成術時における鼻形成：大鼻翼軟骨に至るアプローチとその比較
昭和大学形成外科 大久保文雄
- P -6 初回唇裂形成術時に行った逆 U 切開による外鼻形成術の長期経過
大阪医科大学形成外科 上田 晃一
- P -7 初回唇裂手術時の外鼻形成術による短鼻とその修正
藤田保健衛生大学形成外科 吉村 陽子

【パネルディスカッション】 第2日 4月13日(木)

『関連領域における形成外科の展望

関連各科と形成外科のあり方、立場について』

司会 北海道大学形成外科 山本 有平
長崎大学形成外科 平野 明喜

- P -1 頭頸部および他科再建領域
- P -1- 頭頸部再建に求められること(一次再建と二次再建)
岡山大学形成再建外科 木股 敬裕
当大学に
- P -1- 他科共同手術における形成外科の役割、分担について
おける現況、問題点、教育、展望
北海道大学形成外科 関堂 充
- P -1-特別発言 多職種チーム医療における形成外科のあり方
- 静岡がんセンター頭頸癌チームの取り組み
静岡県立静岡がんセンター形成外科 中川 雅裕
- P -2 皮膚良性、悪性腫瘍の治療領域
- P -2- 皮膚腫瘍について：皮膚科医の立場から 基底細胞上皮腫を例にして
虎の門病院皮膚科 大原 國章
- P -2- 皮膚腫瘍に対する取り組み ~形成外科医のめざすもの~
長崎大学形成外科 田中 克己
- P -2-特別発言 皮膚腫瘍を取り扱う形成外科医のあり方、立場について
- 皮膚科学教室在籍 15年の経験から学んだこと -
神戸大学形成外科 寺師 浩人
- P -3 顎顔面外科領域
- P -3- 形成外科疾患に対する骨きり術 VS 美容外科手術としての骨きり術
昭和大学形成外科 佐藤 兼重
- P -3- 美容外科手術としての骨切りについて
自治医科大学形成外科 菅原 康志

【パネルディスカッション】 第3日 4月14日(金)

『眼瞼・眼窩の再建手術』

司会 関西医科大学形成外科 小川 豊
藤田保健衛生大学形成外科 吉村 陽子

- P -1 眼瞼の再建手術
千葉大学形成外科 吉本 信也
- P -2 遊離皮弁移植による眼瞼および義眼床再建術
東京女子医科大学形成外科 竹内 正樹
- P -3 義眼台埋入による義眼床形成および再建
福島県立医科大学眼科 八子 恵子
- P -4 眼球内容摘出症例の眼瞼、義眼床の再建
(sliced costal and scapha cartilage、脂肪注入を用いて)
矢永クリニック組織再生研究所 矢永 博子
- P -5 5つの要点に注目した義眼床・眼瞼の再建
福島県立医科大学形成外科 梶川 明義
- P -6 義眼患者に対する我々の治療戦略
神戸大学形成外科 田原 真也
- P -7 顔面広範欠損に伴う眼窩・眼瞼再建
- 各種皮弁に耳輪脚部皮弁、耳介舟状窩組織移植を組み合わせた複合再建 -
愛知医科大学形成外科 竹市 夢二
- P -8 眼瞼・眼窩再建の難しさと戦略
関西医科大学形成外科 久徳 茂雄

(2) 第15回日本形成外科学会基礎学術集会

会期：平成18年10月12日(木)、13日(金)

会場：大宮ソニックシティ(埼玉)

会長：中塚 貴志 埼玉医科大学形成外科教授

下記の特別講演、教育講演、シンポジウム、パネルディスカッションの他、研究発表が行われた。

- 【特別講演1】 第1日 10月12日(木)
司会 大阪大学形成外科 細川 亙
『*in situ* Tissue Engineering とその臨床応用』
京都大学再生医科学研究所 臓器再建応用分野
中村 達雄
- 【特別講演2】 第1日 10月12日(木)
司会 長崎大学形成外科 平野 明喜
『再生医療が先導する運動器治療の近未来』
広島大学大学院 医歯薬学総合研究所整形外科学 越智 光夫
- 【特別講演3】 第2日 10月13日(金)
司会 杏林大学形成外科 波利井清紀
『再生組織の移植妥当性評価 - 再生軟骨の力学的特性の非侵襲計測 - 』
東京大学大学院医学系研究科 疾患生命工学センター
牛田多加志

【教育講演】 第2日 10月13日(金)

司会 神戸大学形成外科 田原 真也

『ES細胞を用いた再生医療実現に向けた基盤的研究』

埼玉医科大学ゲノム医学研究センター 発生・分化・再生部門
奥田 晶彦

【シンポジウム i】 第1日 10月12日(木)

『創傷治癒・難治性潰瘍研究の最新動向』

司会 日本大学形成外科 井砂 司

日本医科大学形成外科 水野 博司

- S - i-1 皮膚灌流圧による創傷治癒予測
新須磨病院形成外科・創傷治療センター 辻 依子
- S - i-2 日本における足病研究の動向
形成外科医を中心とした ASHE project in Saga
佐賀大学形成外科 上村 哲司
- S - i-3 静脈性潰瘍に対する定量的評価の研究
デュプレックス・スキャンから近赤外分光装置まで
東京女子医科大学形成外科 八巻 隆
- S - i-4 血管新生の視点から考える良性肉芽と難治性下腿潰瘍の病態生理
北海道大学形成外科 小浦場祥夫
- S - i-5 自己由来創傷治癒関連液性因子の再生医療への応用
東京大学形成外科 松本 大輔
- S - i-6 創傷治癒遷延に対する細胞治療
～脂肪由来幹細胞の応用と、移植形式の重要性
東京大学形成外科 権太 浩一
- S - i-7 マウス真皮下血管網可視化モデルを用いた局所陰圧下の血流量測定
福島県立医科大学形成外科 渡辺 裕美
- S - i-8 Critical Colonization 創における細菌叢の分布と病理学的特徴
福岡大学形成外科 真鍋 剛
- S - i-9 マウス創感染モデルにおける細菌感染の維持に関する研究
医療法人正樹会 Beaute de Sport Clinic 原賀 勇壮

【シンポジウム ii】 第2日 10月13日(金)

『創傷治癒・難治性潰瘍研究の最新動向』

司会 神戸大学形成外科 寺師 浩人

聖マリアンナ医科大学形成外科 松崎 恭一

- S - ii-1 創傷治癒研究の最新動向
虚血再灌流障害皮弁モデルを中心として
昭和大学形成外科 土佐 泰祥
- S - ii-2 Type2 筋弁モデルにおいて bFGF 徐放性投与により
minor pedicle を dominant 化させる試み (pedicle shift)
東京大学ティッシュ・エンジニアリング部 安田 吉宏
- S - ii-3 創傷治癒における骨髄間質由来細胞の役割に関する研究
: Gureen Fluorescent Protein 発現マウスを用いて
福岡大学病態構造系総研 自見 至郎
- S - ii-4 創傷治癒・難治性潰瘍に対する局所遺伝子導入法を用いた
分子治療法の開発

- 大阪大学臨床遺伝子治療学 中川 彩
- S - ii-5 Skin-derived precursor cell の分離と創傷治癒に及ぼす影響
慶応義塾大学形成外科 貴志 和生
- S - ii-6 幹細胞と結合織膜弁による虚血無知覚モデルを用いた
神経再生と創傷治癒への関与
長崎大学形成外科 秋田 定伯
- S - ii-7 ケロイド研究における最新動向；マスト細胞とセリンプロテアーゼ
東京医科大学形成外科 松村 一

【シンポジウム】 第2日 10月13日(金)

『再生医療 - 臨床・先進医療への展望 - 』

- 司会 国立成育医療センター形成外科 金子 剛
埼玉医科大学形成外科 市岡 滋
- S - 1 先進医療制度の現状と今後の方向性について
厚生労働省医政局経済課課長補佐 中谷祐貴子
- S - 2 重症難治性虚血肢に対する総合的治療戦略
骨髓幹細胞及び徐放化蛋白による血管新生療法と医療用ウジ治療
日本医科大学第1内科 宮本 正章
- S - 3 末梢血幹細胞による血管再生治療
特定医療法人北榆会札幌北榆病院外科 堀江 卓
- S - 4 血管再生治療の新たな展開
千葉大学循環病態医科学 南野 徹

【シンポジウム】 第2日 10月13日(金)

『美容外科と基礎医学の接点』

- 司会 京都大学形成外科 鈴木 茂彦
東京大学形成外科 吉村浩太郎
- S - 1 上皮間充織相互作用による毛胞形成と再生
広島大学理学研究科 吉里 勝利
- S - 2 美容治療用のアルギン酸を用いたシワとり用注入材と
BMP 由来ペプチドを用いた骨再生用注入材の開発
医学研究所北野病院 鈴木 義久
- S - 3 培養真皮線維芽細胞移植による美容目的肌再生実施の問題点
RD クリニック三田 北條 元治
- S - 4 分子内分泌学的にみた男性型脱毛症の病態：病分子としての TGF- β 1
大阪大学皮膚・毛髪再生医学 乾 重樹
- S - 5 Cell-assisted lipotransfer(CAL)
：脂肪由来幹細胞を補助的に利用した脂肪移植
東京大学形成外科 吉村浩太郎
- S - 6 美容医療と軟骨再生（基礎と臨床）
矢永クリニック・組織再生研究所 矢永 博子

【パネルディスカッション】 第1日 10月12日(木)

『再生医療本格化のための産業化を考える』

- 司会 東京女子医科大学先端生命医科学研究所 大和 雅之
東京大学大学院疾患生命工学センター 鄭 雄一

- PD-1 生きた細胞を用いた再生医療の産業化
- 自家栽培表皮を製品として販売するために -
株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング 畠 賢一郎
- PD-2 再生医学実現のための課題
理研発生再生科学総合研究センター 西川 伸一
- PD-3 「独立行政法人 医薬品医療機器総合機構」の立場から
独立行政法人 医薬品医療機器総合機構生物系審査部部長 田中 克平
- PD-4 「経済産業省」の立場から
経済産業省製造産業局生物化学産業課課長 徳増 有治
- PD-5 再生医療本格化のための産業化と海外の動向
東京女子医科大学先端生命医科学研究所 大和 雅之

(3) 日本形成外科学会誌を編集・発行した。

第26巻 2号	平成18年 2月	85頁	4,200部
第26巻 3号	平成18年 3月	63頁	4,200部
第26巻 4号	平成18年 4月	63頁	4,200部
第26巻 5号	平成18年 5月	61頁	4,230部
第26巻 6号	平成18年 6月	64頁	4,230部
第26巻 7号	平成18年 7月	82頁	4,230部
第26巻 8号	平成18年 8月	52頁	4,250部
第26巻 9号	平成18年 9月	84頁	4,250部
第26巻10号	平成18年10月	60頁	4,250部
第26巻11号	平成18年11月	80頁	4,300部
第26巻12号	平成18年12月	83頁	4,300部
第27巻 1号	平成19年 1月	92頁	4,300部

(4) Scandinavian Journal of Plastic and Reconstructive Surgery and Hand Surgery を発行した。

第40巻 1号	平成18年 4月	64頁	4,100部
第40巻 2号	平成18年 6月	64頁	4,100部
第40巻 3号	平成18年 7月	64頁	4,100部
第40巻 4号	平成18年11月	64頁	4,100部
第40巻 5号	平成19年 1月	64頁	4,100部
第40巻 6号	平成19年 2月	48頁	4,100部

(5) 学術研修会及びインストラクショナル・コースを下記のとおり開催した。

1) 学術研修会

日 時；平成18年4月11日(火)午後1時00分 ~ 午後5時00分

会 場；岡山コンベンションセンター 1F 『イベントホール』

テーマ1；形成外科医に free flap の基礎知識

題目および講師

1) マイクロサージャリーの歴史、基本手技とトレーニング法

東京大学形成外科 光嶋 勲

2) Free flapの適応、pitfallとその対処法

北海道大学整形外科 山本 有平

3) 前腕皮弁の基礎と臨床

神戸大学成外科 田原 真也

4) 腹直筋皮弁の基礎と臨床

福岡大学形成外科 大慈弥裕之

テーマ2; 医療安全対策の実際

5) 医療安全対策の実際

大阪大学附属病院中央クオリティマネジメント部 中島 和江

2) インストラクショナル・コース

日 時;平成18年10月11日(水)午後1時00分 ~ 午後5時00分

会 場;大宮ソニックシティ 1F『大ホール』

テーマ1; 形成外科医に必要な熱傷の基礎知識

題目および講師

1) 熱傷の全身管理

東京女子医科大学形成外科 仲沢 弘明

2) 熱傷の保存的治療

川崎医科大学形成外科・美容外科 岡 博昭

3) 熱傷の手術的治療

中京病院形成外科 浅井真太郎

4) 熱傷の瘢痕拘縮の治療

長崎大学形成外科 田中 克己

テーマ2; Surgical Site Infection

5) Surgical Site Infection

埼玉医科大学消化器一般外科 小山 勇

(6) 日本形成外科学会専門医の審査を専門医認定委員会において行った。

平成18年度専門医合格者氏名(受付順敬称略)

高須 幹弥	森田 礼時	前場 崇宏	田中 洋平	加藤 優子
竹内 真	大塚康二郎	当山 拓也	川村 達哉	安村 和則
黒澤 智子	加藤 敬	田中 浩二	柳田 卓也	大森 直子
野田 和男	窪田 吉孝	南方 竜也	渡辺あずさ	原田 輝一
江川 哲雄	今川孝太郎	楊井 哲	杉田 礼典	長尾 由理
手島 玲子	藤井 美樹	越智 正和	堀 圭二郎	玉田 一敬
菅 浩隆	石井 秀典	赤松 久子	大槻祐可子	青木 伸峰
鈴木 文子	勝沼 栄明	波多 祐紀	太田 壮	尾崎 峰
菅 豊明	須永 中	岡田 雅	飯岡 弘至	長谷川宏美
小泉 智恵	菱田 雅之	金沢雄一郎	塩川 一郎	成松 巖
中村真一郎	高木美香子	村松 英之	飯田 匠子	近藤 雅嗣
秋本 峰克	高橋 長弘	山本 理奈	東盛 貴光	廣瀬 太郎
西部 泰弘	守永 圭吾	清水 史明	菊池 守	
蔦 幸子	井野 康	西岡 弘記	三好みちよ	
小谷野博正	坂本 有孝	那須和佳子	足立 康則	
樋熊 有子	西 由起子	福田 憲翁	森 克哉	

合計76名(応募者96名)

(7) 日本形成外科学会認定施設の審査を認定施設認定委員会において行った。

平成17年度新認定施設名

【地 区】	【施 設 名】	【登録番号】
北海道	JA 北海道厚生連旭川厚生病院形成外科	07 - 120A
東北	平鹿総合病院形成外科	07 - 223A
関東	聖路加国際病院形成外科	07 - 399A
	国立成育医療センター形成外科	07 - 400A
	独立行政法人国立病院機構東京医療センター	07 - 401A
	獨協医科大学病院形成外科	07 - 402A
	藤沢市民病院形成外科	07 - 403A
	都立府中病院形成外科	07 - 404A
	水戸済生会総合病院形成外科	07 - 405A
	昭和大学横浜市北部病院形成外科	07 - 406A
	医療法人鉄蕉会亀田総合病院形成外科	07 - 407A
	前橋赤十字病院形成外科	07 - 408A
	横浜労災病院形成外科	07 - 409A
	社会保険船橋中央病院形成外科	07 - 410A
中部	市立砺波総合病院形成外科	07 - 563A
	岡崎市民病院形成外科	07 - 564A
	松波総合病院形成外科	07 - 565A
	市立四日市病院形成外科	07 - 566A
関西	関西電力病院形成外科	07 - 661A
	関西医科大学附属枚方病院形成外科	07 - 662A
	神戸市立中央市民病院形成外科	07 - 663A
	関西労災病院形成外科	07 - 664A
	大阪赤十字病院形成外科	07 - 665A
	石切生喜病院形成外科	07 - 666A
中国・四国	鳥取県立中央病院形成外科	07 - 734A
九州	北九州市立八幡病院形成外科	07 - 848A
	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	07 - 849A
	琉球大学医学部附属病院形成外科	07 - 850A
	佐世保市立総合病院形成外科	07 - 851A
	沖縄県立中部病院形成外科	07 - 852A

(8) 日本形成外科学会専門医更新を専門医生涯教育委員会において行った。

A) 平成18年度専門医更新者氏名(順不同敬称略)

常多 勝己	原岡 剛一	伊藤 史子	城田陽一朗	町野 千秋
門田 英子	香川 広司	奥山 典秀	新名 法子	松本 佳隆
張 学	大山 知樹	鈴木 裕一	木下 直志	長田 佳郎
田幡 雅彦	森 弘樹	佐々木英悟	深津 雅史	森 秀樹
西関 修	吉田 周平	森岡 大地	山田 雅道	吉田 哲也
吉田 純	栗田 智之	宗内 巖	伊吾田慎一	南本 俊之
横山 才也	知久 明義	荒田 順	池本 繁弘	飛澤 泰友

田邊 裕美	梁 淑姫	関堂 充	岡本 泰岳	伊藤 理
心石 隆史	畠 克彦	菌 雅宏	李 節	岩田 徹也
田嶋 敏彦	佐々木恵一	内藤 浩	赤田 美和	山崎民千明
伊東 邦久	上村 哲司	近藤 昭二	八巻 隆	松浦 英一
山田 大	矢部 哲司	亀淵 克彦	倉片 優	上野 輝夫
石河 利広	渡部 隆博	後藤 孝浩	市岡 滋	平敷 貴也
吉岡 直人	右田 博文	嶋原 康	四ッ柳高敏	谷口和佳枝
小原 宏之	浅田 裕司	桑原 広昌	村井 繁廣	島津 保生
岩本 拓	木村 直弘	村石世志野	徳重 広幸	利根川 均
礮 宗久	柴田 裕達	橋本 一郎	箱崎 美香	権太 浩一
森島 容子	河合 勝也	木下 賀雄	西山 智広	杉本 一
三沢 孝子	清澤 智晴	奥本 隆行	新井 眞樹	澤泉 雅之
高柳 健二	内田 玲	松本 和也	渡邊 彰二	中川 宏治
河野 太郎	茂原 健	原田 浩史	辻野 一郎	平 広之
山王 俊明	青木 律	白石 直人	副島 一孝	
高橋 嗣明	三橋 清	佐々木奈穂	柏 英雄	

以上 113 名 (申請者 132 名)

B) 日本形成外科学会専門医生涯教育制度細則第 11 条並びに専門医制度細則
第 29 条第 4 項により専門医資格を取り消される者 (順不同敬称略)

清泉 貴志 河野 温子 杉本 琢二 土田 廣

以上 4 名

(9) 平成 19 年度評議員選挙を行った。

平成 19 年度評議員選挙管理委員会

委員長：平 広之

副委員長：畑 寿太郎

委員：青柳 和也 今井龍太郎 大木更一郎 門松 香一
小林 正大 高橋 範夫 堀江 和幸

予備委員：権太 浩一 田中 宝 藤井海和子

計 5 回の委員会を開催し、定款並びに評議員選挙施行細則に基づき選挙を行った。
開票の結果、下記 150 名の新評議員を決定した。

【北海道・東北支部 (定数 14 名)】

阿部 清秀、飯田 直成、今井 啓道、上田 和毅、柏 克彦、木村 中
新富 芳尚、館 正弘、福屋 安彦、湊 祐廣、山本 有平、横井 克憲
吉田 哲憲、四ッ柳高敏

【関東支部 (定数 67 名)】

相原 正記、青木 律、赤松 正、秋月 種高、秋元 正宇、朝戸 裕貴
井砂 司、一瀬 正治、岩波 正陽、岩平 佳子、宇田川晃一、内田 満
内沼 栄樹、梅田 整、遠藤 隆志、大久保文雄、大城 貴史、大竹 尚之、
大西 清、緒方 寿夫、荻野 浩希、金子 剛、菊池 雄二、貴志 和生、

清澤 智晴、熊谷 憲夫、倉片 優、光嶋 勲、小室 裕造、酒井 直彦
 櫻井 裕之、佐々木健司、佐藤 兼重、柴田 実、清水 祐紀、白壁 征夫
 菅原 康志、角谷 徳芳、瀬崎晃一郎、高戸 毅、多久嶋亮彦、武石 明精
 竹内 正樹、田中 一郎、土佐 泰祥、鳥飼 勝行、仲沢 弘明、中島 龍夫
 中嶋 英雄、中塚 貴志、西村 正樹、野崎 幹弘、百束 比古、平林 慎一
 保阪 善昭、前川 二郎、増沢 源造、松村 一、丸山 優、三鍋 俊春
 宮坂 宗男、村上 正洋、山崎 明久、山田 直人、吉村浩太郎、吉本 信也
 渡辺 克益

【中部支部（定数17名）】

石倉 直敬、岩澤 幹直、奥本 隆行、嘉鳥 信忠、亀井 譲、川上 重彦
 島田 賢一、鳥居 修平、鳥山 和宏、中束 和彦、深水 秀一、朴 修三
 松尾 清、横尾 和久、吉田 純、吉村 陽子、米田 敬

【関西支部（定数25名）】

石川 浩三、磯貝 典孝、今井 啓介、上田 晃一、上田 吉生、垣淵 正男
 久徳 茂雄、楠本 健司、黒川 正人、桑原 理充、下間亜由子、鈴木 茂彦
 鈴木 義久、辰巳 英章、田原 真也、寺師 浩人、土井 秀明、中原 実
 西野 健一、野瀬 謙介、原田 輝一、藤川 昌和、細川 互、矢野 健二
 山脇 吉朗

【中国・四国支部（定数12名）】

青木 久尚、岡 博昭、木股 敬裕、木村 得尚、毛山 章、小林 一夫
 中岡 啓喜、中西 秀樹、橋本 一郎、宮本 義洋、村上 隆一、森口 隆彦

【九州支部（定数15名）】

秋田 定伯、井上要二郎、上村 哲司、大慈弥裕之、木下 浩二、清川 兼輔
 小藺喜久夫、田中 克己、西村 剛三、橋本 裕之、平野 明喜、三川 信之
 迎 伸彦、矢野 浩規、山内 俊彦

(10) 各種委員会報告

1) 財務委員会

委員長：丸山 優

委員：鳥居 修平、中島 龍夫、山田 敦、梁井 皎

開催年月日：メール委員会

主な議題：1. 平成18年度日本形成外科学会の収支について
2. 平成19年度日本形成外科学会の予算編成
3. 学会賞積立預金についての見直し

活動の概要：1. 平成18年度日本形成外科学会会計収支の確認作業
2. 平成18年度各種委員会予算の見積
3. 平成19年度日本形成外科学会の予算案作成
4. 国際会議積立基金(特別会計)の口座を開設した。
5. 学会賞積立預金についての見直しを行った。
6. 税務署立入調査が行われ、対応した。
7. 会計顧問の検討を行った。

2) 専門医認定委員会

委員長：平林 慎一

担当理事：小林誠一郎

委員：朝戸 裕貴、磯貝 典孝、上田 晃一、清川 兼輔、楠本 健司
熊谷 憲夫、光嶋 勲、佐々木健司、柴田 実、武石 明精
保阪 善昭、宮坂 宗男、山本 有平、吉村 陽子

開催年月日：平成18年4月12日 平成18年10月12日
平成18年12月2日 平成18年12月25日
平成19年1月19日・20日

主な議題：1. 専門医申請者の資格審査および認定審査(筆記試験と口頭試問)
2. 審査法改正(不正に対する罰則も含む)

活動の概要：1. 専門医申請者96名に対し、平成18年12月2日にスクワ
ール麹町で書類による資格審査を行った。
2. 資格審査で問題がありとされた申請者からの弁明に対し、メ
ール委員会を開き審査した。
3. 資格試験合格者90名に対し、平成19年1月19~20日
にホテルニューオータニで筆記及び口頭試問による試験を行
った。
4. 専門医認定試験最終結果
専門医申請者： 96名
書類審査不合格者： 6名
口頭試問試験不合格者： 13名
欠席による不合格： 1名
専門医認定試験合格者： 76名
5. 専門医審査方法に関し、前年度に引き続いて検討した。結果
はまとめて次期委員会へ申し送ることにした。また、不正が

あった場合の罰則について委員会の意見をまとめ理事会に報告した。

3) 専門医生涯教育委員会

委員長：一瀬 正治

委員：秋元 正宇、飯田 直成、井川 浩晴、石倉 直敬、大久保文雄
大塚 壽、楠本 健司、小林 一夫、酒井 成身、田中 克己
田原 真也、湊 祐廣、渡辺 克益

開催年月日：平成18年4月13日 平成18年10月12日
平成19年1月27日 平成19年2月20日(メール委員会)

主な議題：1. 平成19年度専門医更新審査
2. 新たに申請された研究会などの審査
3. 専門医更新保留の審査
4. 更新審査における問題点の検討

活動の概要：1. 専門医資格更新審査の該当者は133名で、更新を承認された者は、113名、留保2名、未承認(未提出含む)14名、資格喪失するもの4名であった。

2. 留保願いは3件あり、2名は留学の理由で承認された。1名は9年間留保が継続されていたが、今回留保を認めなかった。

3. 委員会において承認された学会・研修会更新審査を行った。その結果、実態がないなどの理由で、1学会(防衛衛生学会)と3研究会(広島マイクロサージャリー講習会、青森県形成外科医会、大阪市形成外科集談会)を平成19年度より削除した。

4. 生涯教育基準点数の申請が3件(形成外科新宿フォーラム、日本褥瘡学会九州地方会、北海道頭頸部腫瘍研究会)あり、全て基準が満たされていたため承認した。(平成19年度承認分として)

5. 今後の問題点

施行細則に記載されている「別表専門医資格更新のための生涯教育基準点数」の中の「関連学会研修会」については、現在、実際に行われている研修会を列記し、そのほかの場合は、逐次、該当するか否かを審査する必要性が指摘された。

生涯教育基準点数が、申請時と現状が合致しない場合もあるため、3年毎の更新時に、主催者その旨の説明をそえて申し出た場合は、検討を要するとの指摘がなされた。

学会出席の確認については、第16回基礎学術集会では出席票の提出を求めるが、以後の総会での確認方法についてはさらに検討の必要がある。

4) 認定施設認定委員会

委員長：栗原 邦弘

委員：上田 和毅、岡 博昭、川上 重彦、田中 克己、田原 真也
中島 龍夫、吉田 哲憲

開催年月日：平成18年6月13日(メール委員会)

平成19年2月16日 その他メール委員会

主な議題：1. 認定施設および教育関連施設の認定基準の再確認

2. 認定施設および教育関連施設の新規認定と更新認定

活動の概要：1. 申請・年次報告書・変更届・申請手引き・申請様式等の修正を行った。

2. 認定施設は、新規申請34施設中30施設を認定した。更新は190施設申請中181施設を認定、9施設を教育関連施設への転換を承認した。教育関連施設は、新規申請46施設すべてを認定した。更新は132施設中96施設を認定、18施設を認定施設への転換を承認、18施設を取り消しとした。また、新規申請のうち、29施設については申請年度の研修歴を認めることとした。

5) 学術教育委員会

委員長：細川 互、

委員：相原 正記、朝戸 裕貴、市岡 滋、井上要二郎、上田 晃一
大慈弥裕之、岡 博昭、奥本 隆行、垣淵 正男、梶川 明義
木股 敬裕、鈴木 義久、武石 明精、田中 一郎、寺師 浩人
前川 二郎、升岡 健、矢野 健二、山本 有平

開催年月日：平成18年4月7日 平成18年4月13日

平成18年4月20日 平成18年6月1日

平成18年6月30日 平成18年7月14日

平成18年9月11日 平成18年10月2日

平成18年10月13日 平成18年10月18日

平成18年12月18日 平成18年12月22日

(e-mail委員会含む)

主な議題：1. 秋期 Instructional Course・春期学術研修会開催の件

2. 学会賞受賞対象者選考の件

活動の概要：1. 平成18年4月11日 春期学術研修会を岡山コンベンションセンターで開催。参加申込 281名。

平成18年10月11日 秋期 Instructional Course を大宮ソニックシティで開催。参加申込 318名。

2. 平成18年度学術奨励賞候補を理事会に上申し、以下の4名が決定した。

《基礎研究部門》

学術奨励賞 古賀祐季子 (順天堂大学医学部形成外科)

『骨髄間質細胞含有人工真皮による創傷治癒促進効果についての検討』

日形会誌 Vol.26-4(pp243-248), 2006

岡崎 睦 (東京大学医学部形成外科)

『Construction of pigmented skin equivalent and its application to the study of congenital disorders of pigmentation』

SJPRHS 39-6(pp339-343), 2005

《臨床研究部門》

学術奨励賞 田中 嘉雄 (神鋼病院形成外科)

『末梢動脈疾患(PAD)患者およびその予備軍の皮弁再建外科における腓骨動脈温存の重要性：472肢の血管造影による検討』

日形会誌 Vol.26-9(pp572-578), 2006

学術奨励ジュニア賞 大村 愉己 (東京慈恵会医科大学形成外科)

『巨指(趾)症 - 長期経過からみた分類と治療』

日形会誌 Vol.26-6(pp371-382), 2006

6) 機関誌編集委員会

委員長：中塚 貴志

委員：朝戸 裕貴、上田 和毅、上田 晃一、大慈弥裕之、大西 清
岡 博昭、奥本 隆行、亀井 譲、川上 重彦、木股 敬裕
清川 兼輔、清澤 智晴、光嶋 勲、桜井 淳、佐々木健司
菅原 康志、鈴木 義久、館 正弘、田中 一郎、田中 克己
田原 真也、土佐 泰祥、中山 敏、平瀬 雄一、朴 修三
三鍋 俊春、宮坂 宗男、矢野 健二、山本 有平

編集幹事：市岡 滋

開催年月日：平成18年4月12日

主な議題：1. 投稿論文の査読について

2. 不正投稿論文の取り扱いについて

活動の概要：1. 投稿論文の査読、編集

2. 不正投稿論文に対する対応と今後の対策に関して検討した。

3. 平成18年(1月~12月)の投稿状況と査読結果

投稿論文数 117編

掲載決定 79編

却下 3編

取り下げ 4編

査読・訂正中 31編 (平成19年3月15日現在)

7) 渉外・広報委員会(ホームページ実務委員会含む)

委員長：鳥飼 勝行

委員：緒方 寿夫、木下 浩二、小坂 正明、平瀬 雄一、松尾 清
四ツ柳高敏

(ホームページ実務委員会)

委員：小林 正弘、荻野 浩希、鈴木 啓之、寺田 伸一、松村 一

開催年月日：平成18年10月13日

主な議題：1. 広報活動 学会誌ニュースレターの採用基準について

2. 学会ホームページの活用と更新作業について

活動の概要：1. 学会誌ニュースレターの掲載

2. ニュースレター採用基準について検討した

3. ホームページの更新作業を行った。

4. ホームページ委員会にて「形成外科で扱う疾患」等の改訂の作業を開始した。

8) 国際委員会

委員長：野崎 幹弘

担当理事：中塚 貴志

委員：光嶋 勲、杉原 平樹、波利井清紀、細川 互、森口 隆彦

開催年月日：適宜持廻り委員会を開催

主な議題：1. 第10回 IPRAS・APS 会議開催について

2. 海外外国会員の推薦

活動の概要：1. 組織委員会設立について協議した。

2. 申請のあった1名の資格等について審査し、その結果を理事会へ報告した。

9) 社会保険委員会

委員長：金子 剛

委員：相原 正記、秋元 正宇、井砂 司、井上 邦雄、井上要二郎
井上 義治、宇田川晃一、大久保文雄、大西 清、貴志 和生
小坂 正明、島田 賢一、関口 順輔、田中 嘉雄、谷野隆三郎
二之宮邦稔、湊 祐廣、三鍋 俊春、村上 隆一、梁井 皎
吉田 哲憲

開催年月日：平成18年4月11日(全体)

その他適宜 e-mail 委員会

主な議題：1. 社会保険診療報酬新設改正要望書の内容検討

2. 外保連活動への協力

3. 混合診療と先進医療についての検討

4. 厚生労働省，日本医師会に提出する要望の検討

5. 広報活動の検討

6. その他

活動の概要：1. 外保連から厚生労働省に提出する社会保険診療報酬改正要望書の作成
以下の項目につき医療技術（再）評価希望書を作成し外保連
から厚生労働省に提出する社会保険診療報酬改正要望書に掲載した。

〔新設5件〕

頭蓋顔面拡大再建術（高度先進に対応）

頭蓋顔面拡大再建術（同上，延長器使用）

顔面骨内異物除去術（下顎骨，頬骨，上顎骨）

顔面多発骨折変形治癒矯正術

3D-CTによる顔面頭部実体モデル検査（高度先進に対応）

〔改正3件〕

全層・分層植皮術

顎・口蓋裂形成手術 4. 両側

内視鏡下（補助下を含む）手術

2. 外保連3試案（手術，処置，検査）の内容の検討に協力した。

関口委員：処置委員長，常任委員．処置，検査，総務

金子委員長：処置副委員長，常任委員．処置，広報
宇田川委員：処置，検査
大西委員：手術，実務
相原委員：検査，手術

3．日本医師会疑義解釈委員会関連

供給停止予定品目について検討を行った．保険収載の希望があった材料について答申を行った．形成外科関連では吸収性プレートについて答申を行った．

4．先進医療専門家会議関連

先進医療専門家会議に構成員として参加し，先進医療として申請のあった新規技術について検討を行った．

高度先進医療が先進医療に統合されたことから，形成関連の高度先進医療であった技術の施行施設の要件の見直しを行い，特定機能病院以外でも施行可能となるように答申を行った．

5．厚生労働省，日本医師会に提出する要望の検討

血管腫硬化療法保険適応

骨髄穿刺液含浸人工真皮の保険適応

6．日本小児期外科系関連学会協議会（JPASS）関連

本年度より入会した．委員として千葉県こども病院鈴木啓之先生，金子委員長が参加する．日本小児期外科系関連学会協議会として厚生労働省に要望書を提出した．

7．広報活動

ランチョンセミナー 「形成外科領域における診療報酬の改定」2006年4月13日

司会：関口順輔，金子 剛 演者：宇田川晃一，大西 清

ランチョンセミナー 「混合診療と先進医療」2006年4月12日

司会：谷野隆三郎 演者：金子 剛

社会保険形成外科診療報酬点数早見表の監修を行い，（株）キッセイ薬品工業の販促品として全国の形成外科に配布，ケロイド・肥厚性瘢痕研究会のHPにも掲載された．

日本小児総合医療施設協議会加盟施設を対象に保険診療についてのアンケート調査を実施した．

認定施設，教育関連施設を対象に新設，改正要望，Q&A についてアンケート調査を実施した．

8．その他

10)メンバーシップ委員会

委員長：鳥居 修平

担当理事：一瀬 正治

委員：清川 兼輔、佐々木健司、横尾 和久

開催年月日：平成18年10月12日、平成19年3月1日

主な議題：会員の不祥事について

活動の概要：他学会の状況について調査し、ホームページからの削除、処分について検討した。

1 1) 倫 理 委 員 会

委員長：渡辺 克益

担当理事：佐藤 兼重

委員：保阪 善昭、中島 龍夫

開催年月日：FAX 委員会

主な議題：1) 形成外科学会の個人情報保護方針(プライバシーポリシー)の作成

活動の概要：他学会や法律事務所等の個人情報保護方針を比較検討し、形成外科学会としての個人情報保護方針を理事会に答申した。承認されれば、当該方針に沿って個人情報を保護する施策が必要とする。

1 2) 定 款 検 討 委 員 会

委員長：百束 比古

委員：秋元 正宇、大塚 壽、平野 明喜

開催年月日：メール委員会随時

主な議題：専門医制度検討委員会からの諮問事項であった「日本形成外科学会専門医制度 細則」の改訂

活動の概要：専門医制度細則第29条の改訂を行った。改訂の内容を第5号議案として示した。

1 3) 企 画 調 査 委 員 会

委員長：小林誠一郎

委員：岩澤 幹直、岩淵 正男、木股 敬裕、澤泉 雅之、武石 明精
四ツ柳高敏、升岡 健

開催年月日：平成18年4月12日 平成18年10月12日

その他 e-mail 委員会 2回

主な議題：1. 平成18年度活動方針について

2. 科研費等補助金取得に関する調査結果について

3. 形成外科疾患データベースの作成について

活動の概要：1. 科研費等補助金取得に関するアンケート調査を実施した(平成18年3月)集計結果につき理事会へ報告した(資料)。

2. 形成外科疾患データベースの作成について討議し理事会に報告した結果、WGにより検討することが指示され、以下のごとく検討中である。

<データベースWG委員会>

委員長：木股 敬裕

委員：垣淵 正男、金子 剛、清川 兼輔、小林 正弘、武石 明精
田中 克己、前川 二郎、矢野 健二、小林誠一郎(企画調査委員長)

開催年月日：平成18年10月13日 平成19年2月9日

主な議題：1. データベース作成の目的

2. 今後の活動方針

活動の概要：1. データベースの目的を明確にし、名称を JPS -CDB1 (データベース)、JPS -CD1 (新疾病分類)、JPS -CM1 (新医療行為分類) とした。

目的：現在、形成外科専門医制度、認定施設制度、形成外科ホームページでの疾病分類があるのみであり、統一的疾患分類はない。また、疾病分類と医療行為の分類が混在している。今後、学会として研究、教育、診療（健康保険診療報酬等を含む）の基礎データとすべく疾病統計を確立し、形成外科学会の今後に資する。

データベースの種類

- ・日本形成外科学会診療データベース JPRS -CDB1 (clinical data base first)
- ・日本形成外科学会新疾患分類 JPS -CD1 (classification disease first)
- ・日本形成外科学会新医療行為分類 JPS -CM1 (clinical modification first)

2. ホームページ分類と、ICD - 10 等との関連性を調査した。

3. JPS -CD1 (新疾病分類) の基本大分類を検討した。

仮の基本大分類

ホームページ分類を基本とし、形成外科としてアピールすべき疾患を上位分類に追加する方針とした。 討議した結果、以下の項目をとすることとした。

- 1) 先天異常
- 2) 外傷
- 3) 腫瘍
- 4) 難治性潰瘍
- 5) 炎症・変性疾患
- 6) 美容
- 7) その他 (順不同)

これら大分類項目の下流に、唇裂・口蓋裂、顔面外傷などの形成外科に特徴的な疾患を前面に出す。再建手技に関しては、腫瘍の下流に腫瘍切除後の組織欠損と分類し、さらにその下流に部位が来ることになる。

資料．日本形成外科学会認定施設に対する科学研究費等補助金の取得状況調査結果

回答数：71(医育機関 42 施設， その他 30 施設)．

回答率：33.7%(医育機関 56.2%， その他 22.2%)

研究種目	16年新規採用数	継続研究数	17年新規申請数	17年新規採用数	継続研究数	18年新規申請数
科研費基礎 S	0	0	1	0	0	0
A	0	1	2	1	0	3
B	4	8	17	4	8	13
C	16	15	36	8	22	48
萌芽研究	4	3	39	7	6	44
若手研究 A	2	1	11	2	1	8
若手研究 B	5	9	25	5	4	28
科研費合計	31	37	131	27	41	144
他の研究助成	7	14	26	19	13	12
研究助成合計	38	51	157	46	54	156

補助金を獲得した、または申請をしている施設にお伺いします。

補助金獲得に向け注意している点がありましたらお答え下さい。

(該当項目に をつけて下さい。複数回答可)

- 1) 各種補助金募集期間の年次予定の一覧などを作成している。 3
- 2) 科研費以外の補助金にも出来る限り応募するようにしている。 1 6
- 3) 申請書類の記載に採択されるよう工夫を凝らしている。 1 2

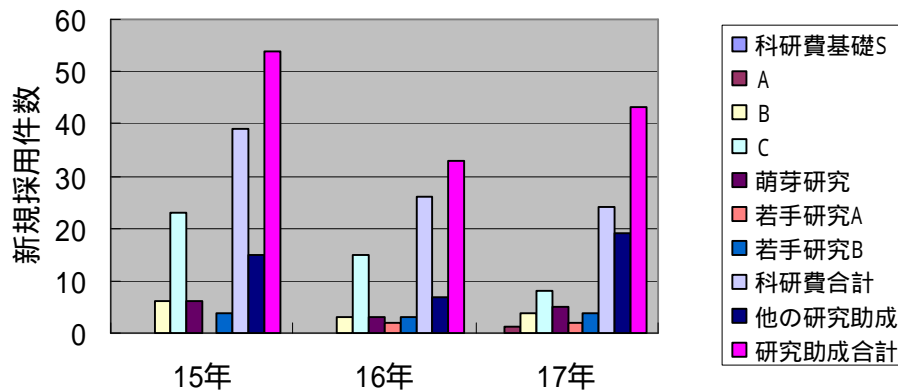
を記入された方にかがいます

工夫の具体例は： 図、写真を入れる。見やすい資料にする。レイアウト、タイトルに工夫。他施設の内容と比較吟味。研究の意義、独創性、実現可能性が判るように記載。実験データを詳しく記載。業績を多く。基礎の先生に意見をもらう。表現方法を配偶者や秘書にも読ませ非専門家にもわかるような文章となるように工夫している。

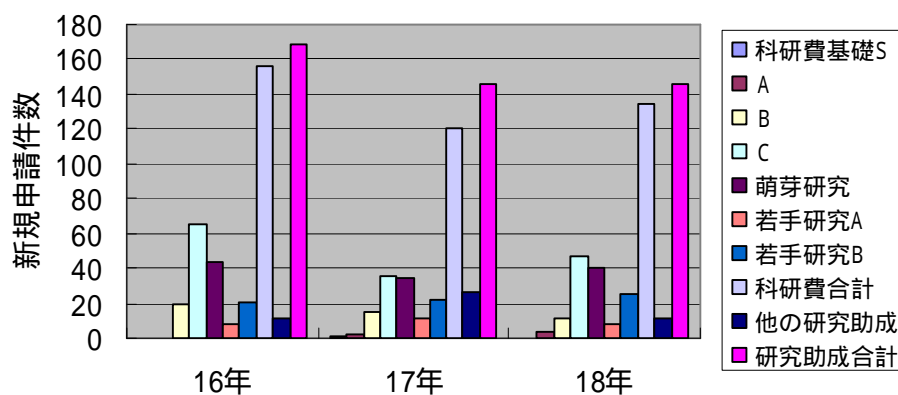
- 4) 書類提出前に、形成外科内でブラッシュアップを行っている。 1 6
- 5) 書類提出前に、複数の診療科間でブラッシュアップを行っている。 4
- 6) その他(上記以外に注意している点がありましたら記載してください)。 6

申請書の書き方についての講演に参加。医局内勉強会で学習する。萌芽 基礎C 基礎Bの順でステップアップする。過去論文を十分引用し実験が継続していることをアピールする。

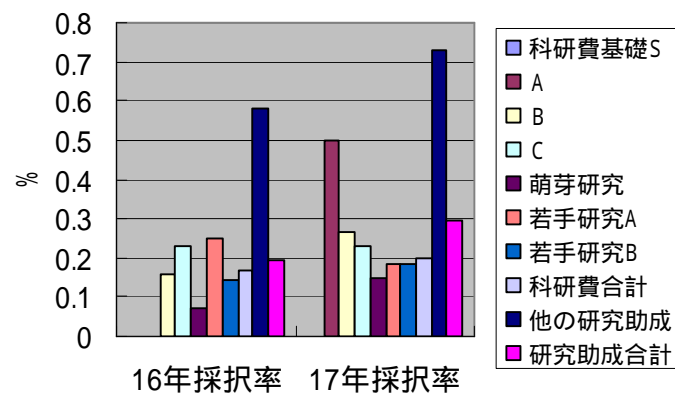
15 - 17年新規採用件数の推移



16 - 18年度新規申請件数の推移



16,17年度採択率の推移



14) 関連領域検討委員会

委員長：鳥飼 勝行

委員：秋田 定伯、石川 浩三、岩平 佳子、小室 裕造、酒井 成身
吉村浩太郎、吉村 陽子

開催年月日：平成18年10月13日

活動の概要： 1. 各種関連領域学会の専門医制度に対する情報収集と問題点などにつき検討した。

2. 「皮膚悪性腫瘍専門医」制定に対し、日本皮膚悪性腫瘍学会

理事長、日本皮膚科学会理事長へ要望書（皮膚悪性腫瘍専門医制度制定に際し、形成外科医も皮膚科医と同等に専門医を習得できるよう配慮して頂く内容等）を提出した。
平成18年7月27日付けで日本皮膚科学会理事長より返答があり、その内容は要望には沿えないとのことだった。

15) 用語委員会

委員長：佐藤 兼重

委員：青山 久、伊藤 理、稲川 喜一、梶川 明義、金子 剛
亀井 譲、清澤 智晴、小林 一夫、柴田 実、二ノ宮邦稔
松尾 清、矢野 健二

開催年月日：平成18年4月11日
平成18年4月19日（臨時メール委員会）
平成18年5月25日（メール委員会）
平成18年7月25日（臨時メール委員会）
平成18年10月12日

主な議題：形成外科用語集改定4版作業の継続

日本医学会分科会用語委員会からの要望事項の作業

活動の概況：形成外科用語集改定第4版改定作業2クールの検討（訂正、追加、削除用語の細目は下記のとおり）

2クール目新規用語の収集と評価（下記の通り）

第5版改定進行中

訂正、追加、削除用語の区分・細目および新規抽出用語評価基準一覧表

区分記号	細目番号	該当用語
A(訂正)	1	議論の余地のない誤字・脱字・部分削除・部分追加
	2	議論の余地がある誤字・脱字・部分削除・部分追加
		* 訳語などの部分削除・部分追加を含めます。
B(追加)	1	同義語
	2	特殊な語尾変化の複数語
	3	反対語
C(削除)	1	一般語(文科省学術用語集医学編にも収載していない語)
	2	形成外科関連外と思われる用語
	3	その他の理由
新規用語の評価	評価番号	評価基準
D(新規)	1	形成外科特有の用語、形成外科で主に使われている用語。
	2	関連領域の用語だが形成外科で使う用語。
	3	形成外科関連外と思われる用語
	4	一般語などの不必要と思われる用語

16) ビデオライブラリー委員会

委員長：鈴木 茂彦

委員：梶 彰吾、清澤 智晴、野瀬 謙介、四ツ柳高敏

開催年月日：平成18年10月12日

主な議題 : 1 . 個人情報保護法の観点から見直したビデオの確認
2 . DVD 化

活動の概要 : 1 . ビデオライブラリーに残った 26 本のビデオの DVD 化を検討した。
2 . 新規ビデオの募集について検討した。

17) 専門医試験問題作成委員会

委員長 : 平野 明喜

委員 : 青木 律、赤松 正、井砂 司、磯貝 典孝、上村 哲司
大慈弥裕之、大場 創介、岡本 隆行、亀井 譲、川嶋 邦裕、
貴志 和生、久徳 茂雄、黒川 正人、菅又 章、寺師 浩人、
西村 剛三、朴 修三、前川 二郎、吉本 信也

開催年月日 : 平成 18 年 4 月 13 日、平成 18 年 10 月 12 日

メール委員会 : 多数

主な議題 : 専門医試験問題の作成と見直し
筆記試験問題の採用に関する検討

活動の内容 : 1 . 平成 18 年度版問題集 CD-ROM を作成した。
2 . 試験問題集 CD-ROM を専門医試験受験者へ配布した。
3 . 平成 19 年度版問題集作成のため、試験問題訂正と不适当問題の削除を行った。
4 . 新作選択肢問題を 60 題作成した。
5 . 筆記試験問題につき専門医認定委員会の意見を聞いた上で、平成 19 年度版用に筆記試験問題を 60 題作成した。
6 . 18 年度版試験問題 CD を 41 枚販売した。

18) 将来計画特別委員会

委員長 : 中西 秀樹

委員 : 川上 茂彦、小林誠一郎、杉原 平樹、鈴木 茂彦、鳥居 修平
野崎 幹弘、波利井清紀

開催年月日 : 平成 18 年 4 月 13 日、平成 18 年 10 月 13 日

その他メール委員会

主な議題 : 1) 医療事故等に関する関連部会について
2) 疾患別ガイドラインについて
3) その他

活動の概要 : 1) 医療安全推進委員会を立ち上げた。
2) ガイドラインを作成する疾患の選定を行った。
3) 学会専門医及び制度のあり方を検討する委員会を立ち上げた。

19) 選挙制度検討委員会

委員長 : 内沼 栄樹

委員 : 相原 正記、垣淵 正男、中西 秀樹、宮坂 宗男、山田 敦
吉村 陽子、渡辺 克益

開催年月日 : 平成 18 年 10 月 13 日

主な議題 : 理事選出方法の検討

活動の概要 : 専門医認定制機構に属する社団法人 26 団体に対し調査を行い、形成外科学会と比較検討した。

20) 国際医療協力委員会

委員長：内沼 栄樹

委員：朝戸 裕貴、磯貝 典孝、熊谷 憲夫、栗原 邦弘、柴田 実
高戸 毅、中嶋 英雄、百束 比古、保阪 善昭、丸山 優

開催年月日：無

主な議題：無

活動の概要：特記事項なし

21) 医療用器材等検討委員会

委員長：熊谷 憲夫

担当理事：栗原 邦弘

委員：一瀬 正治、内沼 栄樹、金子 剛、中塚 貴志、原口 和久
百束 比古、吉村浩太郎、谷野隆三郎

開催年月日：平成18年10月13日

主な議題：1. 医療機器、機材についての安全性情報、最新ニュースを学会のホームページ等で報告する。

INAMED,NIH等のホームページを閲覧する。

2. 未承認機械をワークショップ等で報告することの是非について
ワークショップについてはメカ主導であり、セミナーを通して未承認、承認のいずれかを報告してもらえばよいのではとの意見があった。

3. 委員会予算については、前年度より2年間にわたり医療器材の分析費用として日本医大へ各30万払い込む。

4. Tissue Expander

旧来品は承認されているが、使用に耐えない。一方、最新型の製品については未承認品であり使えない。

5. 乳房インプラント研究会

本邦で、現在インプラントがどの程度使用されているのか、上記の研究会などを通して確認する必要があるのか？ただし、開業医レベルで多くが使用されていることもあり、実態を把握するのは難しい。

6. 薬剤についての検討

血管腫治療材料としてのエタノール(未承認)

外保連、あるいは学会から要望書を提出するか。

22) 専門医制度検討委員会

委員長：鈴木 茂彦

委員：一瀬 正治、栗原 邦弘、小林誠一郎、平野 明喜、平林 慎一
松尾 清

開催年月日：平成18年4月13日、平成18年10月13日

その他メール委員会

主な議題：1. 美容外科施設認定について

2. 専門医認定委員の増員について

- 活動の概要： 1 . 現在の基準では認定施設や教育関連施設に該当しない美容外科施設を、特殊な教育関連施設として認めることに関わる問題を検討し、理事会に答申した。
- 2 . 専門医認定委員会委員の増員に関わる問題を検討した。

「教育関連施設（美容外科）」に関して、専門医制度検討委員会の答申をもとに理事会、常務理事会で承認された決定事項

- 1) 一定条件を満たす美容外科施設を「教育関連施設（美容外科）」として認め、1年を限度として専門医取得に必要な形成外科研修期間と認める。ただし、他の教育関連施設や、熱傷センター、がんセンターなどの特殊な認定施設と併せて2年以内に制限する。（正規の認定施設での研修が2年以上必要）。
- 2) 「教育関連施設（美容外科）」と認める条件は
1. 常勤の形成外科専門医がいる。
 2. 学会発表や論文発表の点数は、教育関連施設と同等以上である。
 3. 形成外科専門医を目指す医師のための教育システムが確立されている。

2 3) 医療安全推進委員会

委員長：平野 明喜

委員：小林誠一郎、保阪 善昭、細川 亙、
館 正弘(北海道・東北)、仲沢 弘明(関東)、横尾 和久(中部)、
山脇 吉朗(関西)、松本 和也(中国・四国)、迎 伸彦(九州)

開催年月日：平成18年10月12日

メール委員会：平成18年9月12日、平成18年11月28日

主な議題：委員会の立ち上げ、活動内容の検討

- 活動の概要： 1 . 各支部に委員推薦の依頼を行い、平成18年9月に委員会を発足した。
- 2 . 形成外科に係る医療事故・合併症・副作用の調査と報告、裁判所からの鑑定依頼への対応、および各認定施設における医療事故・紛争に関する調査について協議した。
- 3 . 医療事故・合併症・副作用については、学会のホームページに会員専用のページを設けて公表する方向での検討を行った。